

学科DP指標	カリキュラム マップ	到達目標	確認項目	レベル3(100%)	レベル2(80%)	レベル1(60%)
B.【倫理観】	○	技術者倫理や情報倫理の重要性を認識し、技術者としての責任を自覚することができる (B)	技術者倫理	平常の研究活動、文書作成、発表態度などにおいて、技術者倫理、情報倫理を常時、配慮し、技術者としての責任を自覚できている。		平常の研究活動、文書作成、発表態度などにおいて、技術者倫理、情報倫理、技術者としての責任を概ね配慮している。
F.【コミュニケーション力】	○	国内外の科学技術情報を収集・分析し、課題解決につなげることができる(F) 研究の目的、方法、結果等を考察し、成果を論文の形式にまとめ、発表し討論できる (F)	技術文書 (読む)	国内外の科学技術情報(和文、英文)を的確に読み解くとともに、広い視野に立って技術文書を評価できる。	国内外の科学技術情報(和文、英文)全体を読み解き、評価できる。	国内外の科学技術情報(和文、英文)の概略を読み解くことができる。
			技術文書 (書く)	研究の目的、方法、結果等を考察し、論文の形式にまとめられている。	研究の目的、方法、結果等を考察し、論文の様式で概ねまとめられている。	些細な不正確さは残存するが、研究の目的、方法、結果等を論文の様式で概ねまとめられている。
			口頭発表力	スライドや口頭発表を、聴衆が理解しやすいように論理的に工夫している。	スライドや口頭発表の一部に不明確な点はあるが、聴衆が理解しやすいように工夫している。	論理的な発表をしようとする態度を身に付けている。
			討議能力	質問の意味を的確に理解し、根拠に基づいた適切な回答をしている。	質問の意味は理解しているが、一部はあいまいな回答をしている。	質問の意味を概ね理解して回答している。
G.【協働を通じた自己管理能力】	○	計画性を持って、自主的かつ継続的に学習し研究を遂行できる (G)	計画性・継続性	他者との協働の中で、計画性を持って、自主的かつ継続的に学習し、研究を実行出来ている。	他者との協働の中で、計画性を持って、自主的かつ継続的に学習し、研究を実行することが概ね出来ている。	教員との協働の基に、研究の計画や実行を行っている。
H.【未来志向力】	◎	研究課題が持つ社会的および学術的意義を理解・認識し、その解決・改善に必要な科学・技術上の問題点を把握し、解決することができる (H)	課題発見力	現状の研究成果や修得した知識、社会の要求を総合的に活用し、主体的に課題を発見した。		教員との討議を通して協動的に課題を発見した。
			課題解決力	発見した研究の課題について、その課題解決に繋がる方策を適応的に実行している。	発見した研究の課題について、その課題解決に繋がる方策の提示が概ね出来ている。	教員との討議を通して、研究の課題認識と、その解決方法が考えられている。